

# 見積もりの基本的な考え方

- 1、安全に作業を実施できる
- 2、確実に作業ができる
- 3、低コストで作業ができる

- ・木の種類、生え方、土地の形状、まわりの環境によって見積もりが大きく変わってきますので、実際に木を切る専門家に一本ごとに確認をしてもらい、伐採のために、最大どの程度の延べ時間が必要かを確認して算出しています。
- ・伐採後の残材の処理に一番費用がかかります。残材はコリーナの共有地に集め、燃料になる木は希望者に持って行ってもらい、細かい木はチップにして共有地公共地に撒いて雑草の繁茂を防止します。できる限りコリーナ内で処理することで、残材の処理費用を抑えていきます。
- ・整備した所有地からなるべく残材を動かさないことがコスト低減につながります。（共有地までの人件費、トラック代）希望者が見つかった場合は直接整備場所から持って行ってもらうこともあります。
- ・雑木などの薪になる木は希望者がいますが、黒木と言われる杉やヒノキなどの木は希望者が現われない可能性があります。そのような種類の木の処理に関しては、コストが高くなることをご了解ください。
- ・伐採のコストは人件費及び処理費用となります。人件費は事前の確認によりほぼ見積もり通りの実施が可能ですが、処理費は前記のようにいろいろな場面が想定されるので、事前では概して高めの見積もりになることをご了解ください。
- ・最終的にご請求させていただく費用は実施費用となります。事前見積もりではいろいろな不確定要素をみていかなければいけないので、どうしても最終実施費用より高めになってしまいます。事前見積もりはマックスでかかる費用とご理解ください。
- ・伐採を依頼する事業者は作業の性格上すべて出来高の清算になります。今までの経験では決して見積もりをオーバーすることはありません。すべて見積もりよりはコストダウンされてご請求されておりますので、あくまでもあらゆる状況を想定した最大限の見積もりとご理解ください。